

CLIPPEDIMAGE= JP357168067A

PAT-NO: JP357168067A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 57168067 A

TITLE: VESSEL EQUIPPED WITH WATER WHEEL GENERATOR

PUBN-DATE: October 16, 1982

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

TSUJIOKA, TOKUTARO

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

TSUJIOKA TOKUTARO

COUNTRY

N/A

APPL-NO: JP56053449

APPL-DATE: April 8, 1981

INT-CL (IPC): F03B013/12

US-CL-CURRENT: 290/53

ABSTRACT:

PURPOSE: To obtain the power effectively by providing a water wheel coupled to a generator in a water guide path from the bow to the stern of a vessel equipped with an engine.

CONSTITUTION: A plurality of water wheels are arranged in step in a water guide path 2. Said water wheel is equipped with a wheel shaft 9, a plurality of water wheels 10 mounted on said shaft and a water wheel guide bearing 16 for holding said shaft 9. The water wheel shaft 9 of each water wheel 8 is coupled to a generator 11 in a generator room 4 to constitute a water wheel generator 12. The vessel 1 will navigate by the engine to the desired flow area in the

river or ocean then anchored to provide the water into the water guide path.

Said water will rotate the water wheel 10 thus to operate the water wheel generator 12 and to produce the power.

COPYRIGHT: (C)1982,JPO&Japio

⑬ 日本国特許庁 (JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報 (A)

昭57—168067

⑨ Int. Cl.³
F 03 B 13/12

識別記号

庁内整理番号
7815—3H

⑬ 公開 昭和57年(1982)10月16日

発明の数 1
審査請求 未請求

(全 4 頁)

⑭ 水車発電機装備船

⑯ 発明者 辻岡徳太郎

徳島市北佐古 2 番町 1 番14号

⑰ 特 願 昭56—53449

⑰ 出 願 人 辻岡徳太郎

⑱ 出 願 昭56(1981) 4 月 8 日

徳島市北佐古 2 番町 1 番14号

⑲ 特 願 昭54—162957の追加

明細書の浄書(内容に変更なし)
明 細 書

1. 発明の名称

水車発電機装備船

2. 特許請求の範囲

エンジンを備えて自から航行せる船体に、その船首から船尾にかけて貫通した導水路が設けられ、この導水路に、複数基の水車装置が順次に並設され、これら水車装置に発電機が連結して設備され、船体を水流に沿って係留したとき水流を上記導水路に受け入れて流通させて、列設の各水車を順次回転し各発電機をして発電を行うようになり、水車装置は水車軸に水車が割形構造に装着されている水車発電機装備船

3. 発明の詳細な説明

本発明は、河川の流水、海洋の潮流を船体内に取入れ、流通させて複数の水車発電機を働かせる船体であって、かつ、自から航行できるエンジンを備えて、必要な流水域へ自走できるようにした水車発電機装備船を提供するにある。従来、水車発電機を備え、流水で発電を得る船

体は知られているが、この従来の船体は、自から航行するエンジン等を備えていない。また船体に設置の水車発電機は一基である。このため、必要な流水域への運搬及び係留姿勢の整え修正に不便であり、また一基の水車発電機では効果的な発電が得られない。そこで、本発明は従来の水車発電機装備船を提供する。

以下、本発明の一実施例を図面により説明する。

1 は船体であってこの船体 1 は後述の導水 2 の他に、機関部 3 及び発電機室 4 に備える機関部 3 には、エンジン 5、このエンジン 5 に連結の推進シャフト、その他この船体 1 が航行するに必要な装置が設備されている。

上記導水路 2 は、船首 6 から船尾にかけて船体 1 を前後に貫通して形成され、船首 6 から又は船尾 7 から流水を受け入れ、内部を流通させて船尾 7 又は船首 6 から流し出すようになっている。また、導水路 2 は幅広に形成され、船首 6 がわの入口には流水量を制御する流入制御装

水車10を回転し、水車発電機12を作動させ発電を得る。

4. 追加の関係

特許法第31条1項に基き昭和54年特許願第162957号を主要部とした発明。

即、エンジンを備えて自から航行する船体にその船首から船尾にかけて貫通した導水路が設けられ、この導水路に、複数基の水車装置が順次に並設され、これらの水車装置に発電機が連結して設備され、船体を水流に沿って保留したとき水流を上記導水路に受け入れて流通させて、列設の各水車を順次回転し各発電機をして発電を行うようになり、水車装置は水車軸に水車が割形構造に装着されている水車発電機装備船。水車10の水車軸9への取付け、取外しが簡単である。このため、水車10の取替、修理に便利である。

5. 図面の簡単な説明

第1図は水平断面図、第2図は縦断面図、第3図から第5図は要要の断面図。

置を備える。さて、上記導水路2には、複数基の水車装置8が段々に並んで列設してある。これら水車装置8は水車軸9と、この水車軸9に装置された複数の水車10と水車軸9を保持する水車ガイド軸受16を備える。上記水車10は、プロペラ形状でもよい。水車10は、第3図に示すように、ボス部で2分割できる構造に取付けてある。各水車軸9に複数の水車10を装置したのは流水から十分に回転動力を得るようにしたのである。各水車装置8の水車軸9は発電機室4で発電機11に連結され、全体として水車発電機12をとになっている。この水車軸9と発電機11の間で调速機13が装置され、水車軸9の回転を定速に保つようにしてある。

次に、船体1は保留装置14を備え、流域に保留固定されるようにしてある。

本発明の効果

船体1は、自からのエンジンにより河川、河洋の必要な流れ域へ航行し、保留固定して、導水路に流水を入れ流通させる。この流水により

8……水車装置 9……水車軸 10……水車

図1

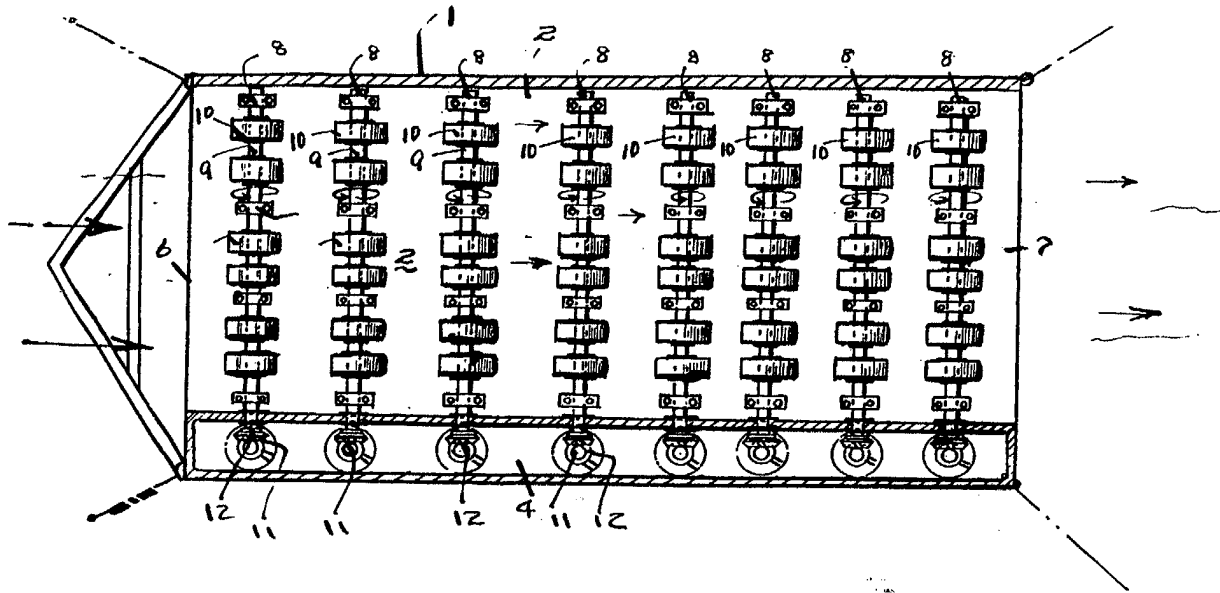


図2

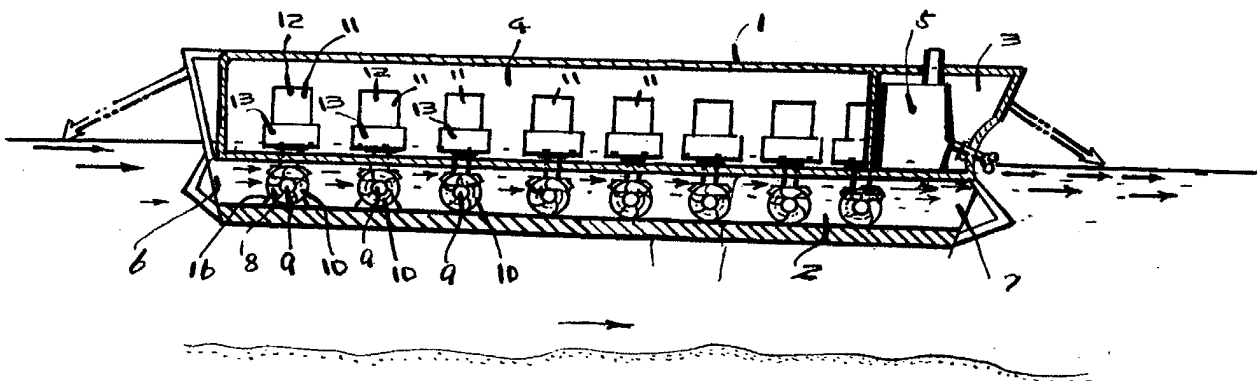


図3

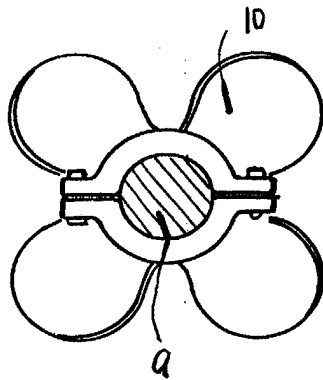


図5

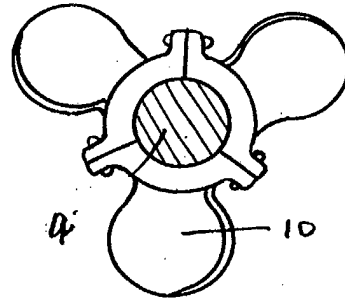
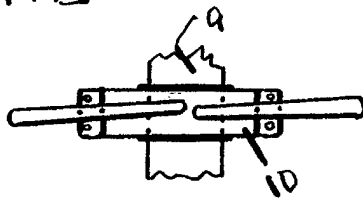


図4



手続補正書 (自発)

昭和56年12月²⁹~~28~~日

特許庁長官 殿

1. 事件の表示

昭和56年追加特許願第 53449号

2. 発明の名称

水車発電機装備船

3. 補正をする者

事件との関係 ~~追加~~特許出願人

住 所 徳島市北佐古2番町1番14号

氏 名 ツジメ トリタロウ 辻岡 徳太郎 (印)

4. 補正の対象

(1) 願 書

(2) 明細書

5. 補正の内容

(1) 別紙のとおり。

(2) 願書の全文及明細書の全文を添書いたしました。内容に変更ありません。